

ふるさとづくり賞

振興奨励賞(市町村の部)を受賞!

受賞内容

甲賀市(旧甲賀町)では平成10年から和太鼓の野外「コンサート」「和太鼓サウンド夢の森」を開催し、和太鼓を通じた文化のまちづくりにつなげてきました。和太鼓サウンド夢の森は今年で第7回を数え、2000人を超える方々が来場されています。また、和太鼓グループ「小佐治すいりょう太鼓」は年間30回程度の演奏活動を行うとともに、平成14年度からは、子どもたちによる和太鼓グループ「甲賀忍玉太鼓団」が結成され、現在では約30人の子どもたちが活動しています。また中学校でも和太鼓を活用した授業を行うとともに、今春には空倉庫を利用した和太鼓の練習場が完成するなど、地域あげての活動が認められ、ふるさとづくり賞振興奨励賞の受賞にいたりしました。

受賞式は11月10日(水)に東京都で開催された「あしたのくらし・ふるさとづくり全国フォーラム」で行われました。



和太鼓サウンド夢の森での「100人太鼓」



子どもたちによる和太鼓グループ「甲賀忍玉太鼓団」



子どもたちによる「子ども100人太鼓」



中学校の授業でも和太鼓を



発足7年目の「小佐治すいりょう太鼓」

ふるさとづくり賞とは…

住み良い地域社会の創造を目指し、全国各地で活発に展開されている地域活動に焦点をあて、また顕彰することでふるさとづくりや地域社会づくりの運動がより一層普及・拡大していくことを目的としています。

秋の叙勲・褒章

受賞おめでとう申し上げます!

2004年秋の叙勲・褒章で、平尾雅弘さんが緑綬褒章を、深逸郎さんが瑞宝双光章を受章されました。

平尾さんは、早朝通学路に立ち、子どもたちを事故から守る立番を約50年間も続けておられます。

また深さんは、昭和37年に保護司として始めて委嘱され、現在まで約40年間、非行少年などの改善更生と地域社会の様々な浄化活動に貢献されております。



甲賀市の船出を祝って

11月8日(月)甲賀市の誕生を祝って、わら細工でつくられた宝船が寄贈されました。
この宝船は西村春次さんが作成されたもので、船に積まれた5つの俵には旧5町の名前が記されています。また帆には市章が飾られ、甲賀市という船の出港をあらわしています。

西村さんがこの船を作ることになったのはある飲食店で宝船を見たことがきっかけで、その船を写真に撮り、早速わら細工での作成を始めたということでした。また、公民館で、しめ縄の講師としても約10年の経験があり、今回はその経験も生かされ、約1週間を費やして作られたといわれています。



船には5つの俵が

